

コミュニティバス鹿ノ台線の利用実績

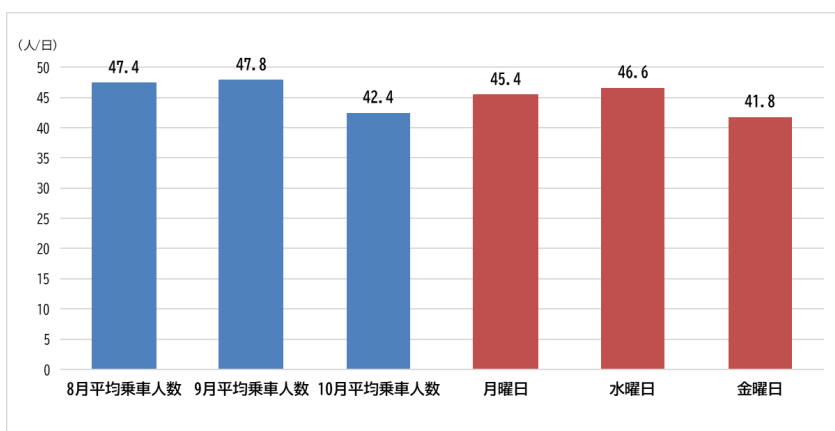
令和4年8月1日から実証実験運行を開始した鹿ノ台線の利用状況を報告する。

期間：令和4年8月～10月

1. 月別、曜日別の乗車人数の推移

・乗車人数は8月、9月、10月がそれぞれ1日平均47.4人（5.9人/便）、47.8人（6.0人/便）、42.4人（5.3人/便）人であった。当初の3カ月間は利用者への定着から増加を予測していたが、10月で利用者が1日平均5人程度減少した。曜日別の利用者は、水曜日、月曜日、金曜日の順に利用者が多い。

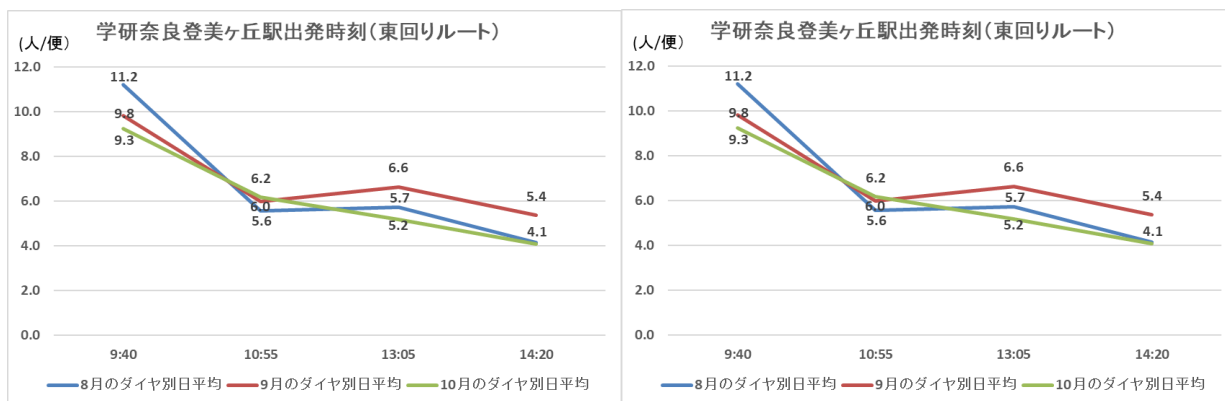
【月別、曜日別の1日あたりの乗車人数の推移】



2. ダイヤ別乗車人数

・ダイヤ別乗車人数は、10月については1日平均乗車人数が減少しているにもかかわらず、10:55発の乗車人数が増加している。

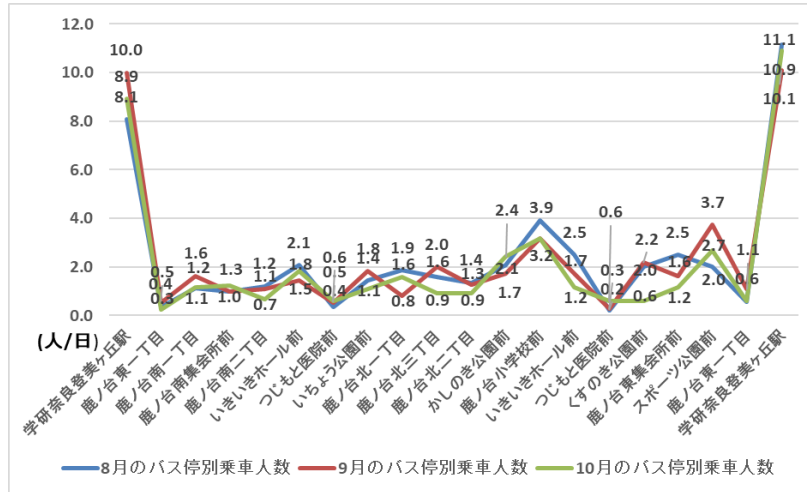
【ダイヤ別の1日あたりの乗車人数】



3. バス停別乗車人数

・バス停別の乗車人数は、起終点である学研奈良登美ヶ丘駅の利用が最も多い。学研奈良登美ヶ丘駅以外では、鹿ノ台小学校前やいきいきホール前、鹿ノ台東集会所前の利用が多い。

【バス停別の1日あたりの乗車人数】



4. 利用状況（まとめ）

・住民への周知が進むことで利用者の増加を見込んでいたが、3カ月目で1日平均5人程度利用者が減少した。水曜日が最も多く、金曜日が最も少ない、また、始発が最も多く、最終便が最も少ない等の結果であった。今後、本格運行に向けては、これらの傾向を分析するとともに、利用者のニーズを確認するなどし、ダイヤ・曜日の変更の必要性について検討していく。

（参考）コミバス導入後の利用者推移について

・鹿ノ台線と他の5路線の導入後の1カ月目、3カ月目、12カ月目、24カ月目の1便当たりの平均乗車人数の推移を比較すると、6カ月目までは光陽台線、門前線を除く路線で減少傾向にあったが、1年後、2年後には全路線で増加傾向にある。

※導入時期：光陽台線（H17.10～）門前線、有里線（H23.10～）、萩の台線、北新町線（H26.10～）

